

授業科目 視覚系構造・機能・病態

【担当教員名】 阿部 春樹		対象学年	1	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		◎	○		
【概要・一般目標：GIO】 眼組織から中枢までの構造・機能・病態など視能矯正学の基礎部分の幅広い分野の知識修得を目指す。正常眼組織の構造と機能の解説に主眼を置き、それが破綻を来した場合の病気との関連性、その病理像など臨床的発症の原因となる機能的および器質的変化の確認に基づく深い理解を求める。					
【学習目標・行動目標：SBO】 講義内容を整理し理解して、視覚器についてきちんと説明できるようにする。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	視覚器Ⅰ 眼球、眼球附属器				講義
2	視覚器Ⅱ 視神経、視路、眼球の計測値				講義
3	脳と神経Ⅰ 視覚伝導路				講義
4	脳と神経Ⅱ 大脳皮質と機能局在、脳と脳神経				講義
5	眼球運動系Ⅰ 核上性中枢、眼球運動神経核				講義
6	眼球運動系Ⅱ 末梢神経、開眼運動				講義
7	眼の自律神経Ⅰ 自律神経、瞳孔				講義
8	眼の自律神経Ⅱ 近見反応、調節、輻輳				講義
9	眼圧				講義
10	房水				講義
11	涙液				講義
12	眼病理学				講義
13	眼疾患と免疫Ⅰ 免疫機構、アレルギー反応				講義
14	眼疾患と免疫Ⅱ 免疫による眼疾患				講義
15	眼遺伝				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学 第二版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子(編)	文光堂	2011・18,000円＋税
		標準眼科学第12版	木下茂 他	医学書院	2013・7,000円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験、授業態度を総合して評価する。			【履修上の留意点】		